



八期歴史会往来第28号

2019年9月1日～9月00日

●前回27号発送添付文

あっという間と思うか「長い夏だった」と思うか、は個人の問題でしょうが、ぼく個人的には「早かった！特に後半は』が実感です。体調は全く大丈夫なのですが周りが結構、波立っています。はやく収まる（凧になる）ことを願っています。

新聞掲載の歴史報告（島津義弘没400年シリーズ）は8月7日の3シリーズの最終編⑦から後、8月は掲載がありませんでした。夏休み、ということなのでしょう。

8月後半は好きな歴史ものを中断して義理の妹から送られてきた世界情勢の本を丁寧に読み、疲れしました。書評をお願いね！と頼まれての読書は疲れます。隈元くんや西山氏のようにほくきません。

僕はどちらかというと精読派なのかも。と思ったり、あたまが「悪いんだ、本当は」としよげたりして読み終えました。（思わく、とか本音とか、他人のこころに入るのが苦手ですね。）

そんなとき、友人の西くん（意外と歴史通「何もコメントしたことがないけど、英語の先生だったからか？」）から見ると読み易そうな、カラー写真がいっぱい入った、おまけにぼくが好きな歴史作家・司馬遼太郎の編集雑誌が届きました。

9月は、この本を読むのと、「四国旅行」でマーコさん始め仲間の皆さんとの再会が楽しみです。

-- この雑誌はぜひ購入されることをお勧めします。（まだ読んでいませんけど裏切られないと思いますし、まあ1000円ですから。）

●歴史往来27メール交換他を添付します。

西山レポートは7月分（すでに前回送ったかもしれませんが）

大石のYouTubeに載せている作品は今は「夢中の中国回憶（中国ぶらり旅）⑳」作目です。

今回は永留先生（付属小）の中国日本語学校で生徒たちに「日本の歌を唄いましょう」編です。以下をクリックしてください。

<https://youtu.be/5KEwtleFaTg>

●8月31日 玉龍全校同窓会開催 城山ホテルにて

益崎くんは少し前に早退しました。内5名は天文館へ。

右はみなさん興味のある今の母校の実力です。



平成31年3月合格校		
1 国立大学・準大学		
大学名	数	計
東京大学	1	1
京都大学	1	1
東北大学	1	1
筑波大学	1	1
新潟大学	1	1
金沢大学	1	1
富山大学	1	1
石川大学	1	1
福井大学	1	1
岐阜大学	1	1
愛知大学	1	1
名古屋大学	1	1
岐阜県立大学	1	1
静岡県立大学	1	1
愛知県立大学	1	1
徳島大学	1	1
高松大学	1	1
香川大学	1	1
岡山大学	1	1
広島大学	1	1
山口大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1
香川県立大学	1	1
岡山県立大学	1	1
広島県立大学	1	1
山口県立大学	1	1
徳島県立大学	1	1
高松県立大学	1	1

● 大石から森くんへ

● 明後日全校同窓会の資料送ります。

来年の80周年募金のことは八期会全体で幾らかしましょうかね。

● 森くんの答え。

川口さんにいつまでも会計の任務を任せておくのも気の毒なので、これを機に会費を清算して残高をすべて同窓会に八期会から寄付したらどうでしょう。

その代わり同窓会幹事会出席の際の会費が自己負担になりますが。

● 大石返信

2019年9月1日(日) 12:08 大石慶二 <kjoishi3@gmail.com>:

ちょっとまずいかも。逆に維持費のためもう少し増やしたい。後1000円ほど会員から最後の維持費・通信費をもらえればと思います。

● 9月2日 大石の「久しぶりの鹿児島風土記」に対して西山氏返信。

いつもありがとうございます。

相当入り組んだ戦いで まさに戦国時代ということでしょう。

尊氏にご落胤があり、ここでの樺山氏の登場に関心を抱きました。

樺山の姓は種子島にもあります。

以前、森永鉄美さんから 戴いたアクセント分布図を思い出しました。

種子島の真ん中に、ドカンと宮崎と同じアクセントがあります。

西山

● 古市さんから、熱いメールが届きました。転送します。 9月2日

福島県の郡山市まで大久保公ゆかりの神社と祭りに出かけたとのことでした。

彼の情熱には脱帽です。薩摩に対する想いに私も身体が熱くなりました。

クマモト タツオ

●

----- Forwarded message -----

From: 古市 庄八郎 <j39zone@catv296.ne.jp>

Date: 2019年9月2日(月) 20:29

Subject: 大久保様の水祭り

To: 隈元達雄 <takumamoto2@gmail.com>

隈元さん ごぶさたしています。

先般は島津家に関する詳細なご説明ありがとうございました。

いやあ貴兄の島津家に関する博識振り、いたく感心いたしました。

今後ともご指導よろしく願いいたします。

昨9月1日、福島県郡山市にある大久保神社で挙行された「大久保様の水祭り」に参加してみました。

「子孫に美田を残さず」は西郷さんの言葉として広く知られていますが、大久保利通公もまた同様に、

家族には美田は残さず多額の借財だけを残しました。

しかし、公は国家に対しては見事な美田を提供してくれました。殖産興業と士族の授産事業を目的に、現在の郡山市安積地区の原野に、遠く離れた猪苗代湖から水を引くという「安積疎水大プロジェクト」を推進。公没後も事業は引き継がれ、荒れ地に立派な美田（米の作付面積10,000畝以上）が誕生しました。大久保公の遺徳を永く後世に伝えるべく、明治時代に大久保神社が建立され、以後毎年9月1日、大久保様の水祭りとして定着、今日に至っております。

今年は「創建130周年記念祭」として、大久保家の子孫の方々や親戚縁者のほか郷里からも多数参列していました。

奉納石灯籠のお披露目等の後、地元の方々の奉納踊りや鹿児島民謡の披露、薩摩琵琶の演奏、はては詩の薩摩弁での朗読など、多彩な催しが披露され盛会でした（この後直会）。

かつて、「大久保家の人間はもう鹿児島には帰れない」と語っていたようなことを新聞か何かで読んだ記憶があります。そんな大久保家の方々が遠く福島郡山に参集している様子を目にするにつけ、奇異な感じを受けました。郷里はもっと暖かく受け入れてほしいなあと思ったことでした。

大石さんにも送ってくださいますよう。

佐倉市 古市

●古市さん

今も変わらぬ鹿児島へのひしひしとした想いが伝わってきました。
千葉から福島県の郡山市まで出かけられるとは凄い情熱です。
また大久保公に対する想いにも感動です。
福島県へ美田を残されたことは、初めて知りました。
これも、私自身いつの間にか西郷一辺倒になっていて大久保のことを知らないという弊害でしょう。

私が昨年読んだ「西郷隆盛と西南戦争を歩く」正亀 賢司著（NHK 記者）文藝春秋刊の中に「百四〇年目の和解」という章で和解したということが事例をあげて書かれていますが、実際には地元・鹿児島ではまだまだのような気がしています。

NHK 大河ドラマ「西郷どん」の最終回を見て私が入感したのは、ドラマ自体の描写に西郷善とは言わないまでも大久保が西郷を追い込んだというような風に見れなくもないものを感じました。
ああいう描き方だと、大久保を見直しつつあった鹿児島人がまた大久保憎しに戻るのではという懸念を感じました。それが私だけならいいのですが、世間がどう見たかです。いずれにしても、大久保や川路がその後の明治政府に、日本国民にどれだけの貢献をしたかということをもっと皆が知るべきだと思うことです。

クマモト タツオ

●「夢中の中国回憶（中国ぶらり旅）②永留さんと巡る江西省の旅動画に対する感想

●大石くんもさることながら、N氏の好奇心など面目躍如ですね。

自分で外国の器具まで買って「燻製」を作るだけのことはあります。

皆んなで彼の家で、「燻製」したものをご馳走になったときも、その蘊蓄に耳を傾けたものでしたが・・・。

先生主催の歓迎会あり、日中友好は万全ですね。

景德鎮の焼き物は興味があります。

日本の有田焼や薩摩焼も真っ青ですね。

いい土を生かすいい職人がいたのでしょう。 クマモト

<https://youtu.be/fJMGqvze9UE>

YouTube 動画 夢中の中国回憶(中国ぶらり旅)② 南昌・廬山・景德鎮を巡る をプレビュー



●中国を知り尽くした人のいい旅で結構なことだと思いました。

訪れになった景勝地・名所旧跡共産党出現以前に創られたものという印象を受けました。

果たして、共産党は何を創ったのでしょうかとてつもなく凄い物を創ったと思います。 西山

●しかし西山さんの返信は早いね。この動画にない著名人の別荘地も訪ねました。中国ではもう一箇所北京の少し北にある承德という別荘地も有名です。いつか北京を訪れる時そこを訪れてみたいと思っています。確か歴代清朝の皇帝達の別荘があるはずです。

景德鎮の後新しい世界遺産「三清山」に登りました。華山と武龍山をミックスした感じですか。オオイン

●西山 早かったのは たまたまです。これから夕食の準備にかかります。

●南昌・廬山・景德鎮の旅・適切に編集された貴兄の映像を見ながら「スケールの大きい旅をしたんだ」と、改めて思うことでした。時間があれば、また、中国旅行をしてみたいです。

附属小は、来週土曜日(14日)大運動会を控えて夏日と変わらぬ猛暑の中、子ども達、教師、実習生 共に汗まみれで練習に取り組んでいるところです。当日、私も応援に行きますが貴兄とも会いたいです。浜崎氏も1年生に孫がいるので、応援に来られるのでは・・・と思います。一緒に話しをしたいと思います。 永留 弘之

●9月6日(金)大石

次回は三清山と理坑と永留先生音楽教室アンコール編です。今日アップします。

貴方がリタイアしたらメモリアル旅行(長沙)しましょうか?

運動会会えたらいいですね。

●大石さんこんばんは

9日(月)午後 に クーポンなど 受け取りにいきます。

その時に バス社内に 預けるもの 準備しようと思います。

① 宿での 飲み物 焼酎 2本 (毎晩 1本)

② 缶ビール 社内 および 食後の 回樂用として 2ケース? そんなに 飲む人いますか?

③ お茶 1ケース (24本) ?

④ つまみ、 ちょとした お菓子の類?

*社内での 焼酎は ハーフ ボトル さつま島美人を寄付します。*紙コップ 準備します。*運転手さんへの 心づけ 10,000円 どうでしょうか?

思いつたまま書きましたが ほかにあれば 連絡ください。以上 よろしく 木場 祥雄

追伸 集合場所 連絡後 柴田さん 藤崎さん 上田さん 連絡あり。

(柴田さん 花樹海より参加)

堀田さん、伊藤昌子さん より連絡ありました。

安倍さんも 花樹海より参加 柴田さん含む 二人には 初日分 返金します。

森さんの件の返金については いこまツーリスト 池田さんと打ち合わせ後具体的に進めます。

●大石です。木場さん、ご苦労さんです。

ビールは発泡酒又は第三のビール(350ml120円程度)でいいですよ。宿のは外のコンビニで買った方がいいのでは?いつものバスサロンでの量と同じでいいと思います。

みんなからひとり2千円~3千円もらいますか?飲み物、菓子代として。いつもはいくらでしたっけ。

心づけはいつも通りしましょう。通年、隈元氏担当なのどうかつに覚えていません。

隈元氏に訊いてみましょうか?今回両腕消えて木場さんしかいないので、皆も理解してくれると思います。

参加したつもりでアドバイスがあればご指示いただければ嬉しいです。

●大石くん

いよいよ最終詰ですね。

資料があるかなと思って調べてみました。

ただ一つ、2013年の「南紀ツアー」の会計報告書だけが残っていました。

それによると、飲食代集金は、	21人×2000円=42000円
バスサロン飲み代集金	10人×1000円=10000円
他に大石くんのやりくりから	30000円

支払い

車中飲料、お菓子代	20151円
バスサロン飲料	7690円
参考までにホテルの飲み代	1日目 19110円

2日目 11975円

この頃、私が会計をしたときは大体似たような金額で終始してのでしょう。

参考になれば幸いです。

クマモト タツオ

●大石さん

そうそうに 返信いただき ありがとうございます。

第3のビールは ビール 1ケースとし、追加は 皆さんにはかり 変更しましょう。

以前 こういう時こそ 本物 ビールを 飲みたいという人が ありました。

(今回は 私の知っている限りでは 参加 していません)

他の件など については 私に 任せて ください。 一人 2000 円以下にします。

(宿屋での 飲み物代などは 別勘定とします) 以上 木場 祥雄

2019年9月4日(水) 21:34 大石慶二 <kjoishi3@gmail.com>:

●先日の古市さんの「大久保神社の水祭り」に関する情報があつたので彼に送ってみました。

このあと、彼からの返信メールも送ります。

クマモト

●古市さん おはようございます。私と交流のある宮之城の「ワシモ」さんが毎週「気ままに雑考マガジン」を発行されていますが、今週の記事に「大久保神社の水祭り」が紹介されました。もう既にご存知かもわかりませんが参考までに送ってみます。

クマモト タツオ

●9月5日 古市くんから隈元くんへ

隈元さん おはようございます。

ワシノさんのメールマガジンのことは、全く知りませんでした。お知らせくださり、ありがとうございました。

出席した「創建130周年記念祭」の当日、記者らしき方が取材しているのを目にし、てっきり鹿児島県の地元紙かなと思っていたのですが、福島民報社だったのです。この一事をもってしても、郡山市関係者が安積疎水プロジェクト推進の英断を下した大久保公に如何に感謝しているかが窺われますよね。迎えに来てくれたタクシードライバによれば、郡山市長などの姿もあったそうです。

石灯籠の奉納者が鹿児島市の有志で作る「西南之役恩讐を越えての会」からとのこと。加えて、除幕者として「西郷隆盛奉賛会」も名を連ねており、正に恩讐を越えての記念祭だと大変嬉しく思いました。

ただ、「西南之役恩讐を越えての会」のメンバーである天台宗大雄山南泉院の宮下住職ですらも、「昨年この神社を知った」と述べている記事を拝見するにつけ、ちょっと愕然としました。

郡山市民が心から大久保公の疎水事業に感謝し、130年の永きに亘り大久保様を偲ぶ水祭りが営々と続けられていることを、地元鹿児島の方々ももっと知ってほしいなあと思つた次第でした。何か良い周知方法があればお手伝いします。

佐倉市 古市

○松富かおり著書『エルドアンのトルコ』にレビューを投稿しました。

大石

本書を読んでいる間にも世界ではいろいろなことが起こっている。

ほとんど情報源は新聞とテレビである。

ところが本書を読みながら、それらの情報を見聞きしていると自分の視野が広がっているのを感じる。

やっと読み終えて（実は結構しんどかった）振り返ると、本書は実にいろいろなことを考えさせてくれた。

筆者が「まえがき」の最後に書いている「トルコで起こりつつある変化を通し、今、日本を取り巻く世界全体で起こっている諸々の出来事にも思いを馳せるそんなきっかけになれば」の願いはピッタリ自分には当たった気がする。

る。

筆者は言う、「現代を生きる私たちにとってアジアだけを見て日本という国の行く末を論じてはならない」と、

又、長い期間を日本の国の代表という立場に近い環境にいて、滞在するその国の政治や文化、外交のトップの人たちと身近に接した経験から得た筆者は言う

「偏狭なナショナリズムに陥ることがあってはいけない。しかし、あまりにも無垢で無防備な国であり続けることも現在の日本には許されない。悪意あるプレーヤーから身を守る知恵や術も備えなければならない」と・・・

日本の立ち位置に警鐘をならす本書が自分に与えてくれたものは大きかった。

……隈元くんもクマタツ名で書評を書いています。アマゾンのサイトです。

●

https://youtu.be/l_sICcQNois

夢中の中国回憶(中国ぶらり)②③は永留先生と生徒たちをテーマに江西省の風景を回憶(思い出す)しながらの最終編です。

YouTube 動画 夢中の中国回憶(中国ぶらり旅)②③江西の旅3(三清山・ブ源理抗・長沙音楽教室)永留弘之先生 をレビュー



●いや～ 驚きの映像でした。 西山です。

永留さんは、大石さんとのコンビで度々、中国を訪れていたのかと思っていましたら初めての中国とのことに驚きました。

その指導ぶりにも驚きました音楽に国境なし、言語のような壁もないということのようです。

大石さん 良い人を良い所へ誘いましたね！

ラストシーンの上海のスモッグに少し驚きました。

10年ほど前、北京で、スモッグがひどいねと言うと、現地ガイドはあれはスモッグではなく霧ですと説明していました。

最後に、映像記録を根気よく続けられたことに感服です。

●大石です。

ありがとうございます。貴方のエールにカづけられテロップを書き続けていますよ。

後、都市数で言えば16都市くらいを訪ねましたかね。だんだん後になるにつけてあまり映像を残していません。ムービーを持参しなくなったからです。

今回の四国旅行もデジカメすら不携帯です。もう数年前からですけどね。

スマホという便利なものが出来て機能も性能もちろん便利さもデジカメやムービーに引けを取りません。便利さの負の減少として次のようなことが起こります。

それは、記録して後で何かを作る（その為にこのシーンを撮らなければ）という気持ちが消えていきます。現代はその日のうちに誰かに伝える（誰より早く、新鮮な情報を）気持ちになっています。

スマホを手にするのと年寄りの僕でもその日のうちにLINE やウイチャット（中国のSNS）などでスマホ上で記録動画を作ってしまうようになります。

その結果、こうして思い出作り（回憶）の時何も残っていないことに気づきます。

もっともよく考えてみれば回憶（My Memory）とは、他人と共有するものでもなく自分の脳裏（扁桃体）にしまっていてときどき引っ張り出して楽しめばいいものではないでしょうか。

、と言いつつも作られた記録が誰かの役に立つことがあるかもしれないという気持ちも無いと言ったら嘘かもしれないけど・・・

●メールありがとうございます。

8ミリの時代、ビデオが登場し頃にはセッセと撮影していましたがいい絵を撮ることに神経を集中させその場を楽しむことは集中し、後になって、あまり楽しんでいなかったことに気づくものでした。

その点では、新名くんもそうだとかねがね思っていました。

しかし、撮影には撮影できることの楽しみ、達成感があるものです。だから、撮る。

スティル写真、うっかりすると自分の写真だけがないということになりかねません。

できることの楽しみと悩みは混在するものかもしれません。でも、できるということは、素晴らしいことです。

西山

●大石くんの中国を巡る旅に、永留先生が加わった音楽の旅を見ながら感動また感動でした。

永留先生は本当に音楽が好きで、その好きな音楽の教師として現在も付属小学校で教鞭をとっていますが、自営業の人以外では八期生の中で、一番がんばっているのではないのでしょうか。

大石くんも折に触れて歌っている声が聞こえていましたが、歌はいいですね。

もちょっと若ければ、有志を募って歌の旅でもしたかったです。

姉妹都市の長沙市の日本語の先生としてがんばった大石くん、歌の交流でがんばった永留先生は長沙市の人々の心にいつまでも残ることでしょう。

クマモト タツオ

●メールありがとうございます。

永留さんは、運動会の倒立競争で最後の最後、運動場の端まで行きませんでしたか？

えう、本人に確認。

西山

○実は2009年11月の長沙市訪問は重要な用事がありました。

日本と中国湖南省の大きなイベント日本節というのがあり。省都である長沙市の黄興広場で日本と中国湖南の「お祭り」が開催され、ぼくは友好都市の関係で鹿児島県の代表として出席することでした。鹿児島代表の祭として僕の推薦した「鹿女短ヤングおはら連」というグループが参加しました。

日本からはほかにJp10以上の団体と同じくらい湖南省の若いグループが参加しました。ヤングおはら連は大好評で第1位との要人と民衆の支持を集めました。その間も永留先生は学校で子供達に音楽教室を開いていました。21日の事です。2日目のイベントをサボって二人は江西省の旅に出かけたのです。次の動画では「ヤングおはら連長沙の地に舞う！」を作りましょうかね。

しっかり記録してあります。

今回の最後の作品もいっぺん削除して、二つに分けて充実させるかも、と思います。

大石

●楽しみにしています。

黒澤明は編集の達人だったそうです名前は忘れましたが米国の監督で気分次第で撮って、後からどのように仕上げるかを考えるという人がいました。撮影の次は、編集に、乞う 西山
でいきましょう。

●9月6日

江西省の旅（三清山・ブ源理抗・長沙市音楽教室）

三清山の登山・・・狭い道の下のごい絶壁、初めての山の珍しい景観などを見ながら、いくつもの山を延々と歩いた思い出がつい先日のように蘇りました。また、貴兄が「中国の人達も
多く行ったことない辺境の地」として、連れて行って頂いた「ブ源理抗」・・・見る景色、合う現地の人達の風貌、服装など・・・不思議な感覚の思い出として残っています。

長沙市での音楽教室・・・自分の変な歌声は別として、若い中国の女子学生との触れ合いは本当に楽しいでした。 貴重な映像を送って頂き、本当にありがとうございました。 永留弘之

●新しいシリーズ『朝鮮出兵』が始まりました。 大石

●いつもありがとうございます。

今日では自慢すべきことはないと思いますが当時としては、よくぞあそこまで攻め上ったと思います。石田三成のロジスティックス采配が称賛される所以です。西山

○大石さん

こんばんは

旅行 無事終了 関連のメールいただきありがとうございました。

森さんには 返金の件含め 午後に いこまツアーリスト池田さんと 精算うちあわせし、返金処理します。

永野さんも同じです。ご苦労様でした。旅行中 天気が良かったこと 何よりでした。

木場 祥雄

●いつもありがとうございます。

太閤検地、面白いひっかけですねたしか、自力で開墾した土地も検地で所有を公認すると言って行ったが後にそうではなかったとか。

「此の寸を以、六尺．．．」は度量衡の統一、天下統一の証でもある。

秦の始皇帝は即位すると、車の轍の幅、質量の基準分銅を定めて、天下に示した。

徳川家康は1603年、江戸入府の折全国を東西33カ国に分け西は神善四郎、東は守随彦太郎に度量衡（さし・ます・はかり、つまり、物差し・升・秤）の管理を委任した。

検地を行えるということは権力者の地位が確立されたことを示すものでもある。

蹴鞠は、祇園で遊んだ大石内蔵助に似たりということでしょうか？ 西山

●大石です 23日

忠恒はどんな人物だったのでしょかね。

紹介する人（作家）の私見によって変わります。庄内の乱を起こす伊集院忠真の父、伊集院幸侃を自ら討つという島津家当主になる人にはちょっと行き過ぎな性格に思えます。幸侃はもしかしたら薩摩びいきにとったら大久保利通のような立ち位置にある存在かもしれないけど、果たして幸侃の存在も当時の薩摩にとってある種、必要悪だったかもしれません。詳しくはわからないけど。

一と、そんなことを貴兄の文を読みながら思うかでした。西山私見も聞いてみたいね。

9月23日往来

大石くんにはいつも配信いただきありがとうございます。

21日(土)は出水の「出水市民大学」という老人講座に呼ばれて演奏会でした。

その様子は昨日のブログ「クマタツ1847」にアップしましたので興味のある方は一読ください。

義弘没後400年シリーズも第4部の2回目ですが、この「朝鮮出兵」のあと予告では「関ヶ原」となっていますので今年中に完結するのでしょうか。

今回も面白く読みましたが、秀吉の狸ぶりが発揮されて面目躍如という感じですね。

と言うのも、島津義久が九州制覇の夢破れ、頭までそって覚悟の上で川内の泰平寺で秀吉に面会したとき、秀吉は大らかな態度で全てとは言わないまでも義久を赦免し、のちに薩摩国一國を安堵したにもかかわらず、今回はその本心を表して、島津四兄弟の中で最後まで抵抗し、そのとき弓まで射かけた3男・歳久のことを追い込んで行くわけですから。歳久はこの記事にもあるように、実際にリュウマチのような症状で朝鮮にも行けず、身体の不調をかこっていたのでしょうか、秀吉の執念はそういうことにはお構いなく「梅北の乱」をいいことにこの時とばかり、歳久を死に追いやってしまう。これが天下人なのでしょう。太閤検地を容易にし、天下を治めるには必要な深謀遠慮だったのでしょか。

義弘も本人は頑強で朝鮮出兵のとき58歳という年齢だったようですが、21歳の長男・久保(ひさやす)を朝鮮で病で失うという悲劇に見舞われています。失意の中でも次の手を考え三男・忠恒(後の家久)に託すことになるのですが、この家久が初代藩主になり、鹿児島城(鶴丸城)を築くわけですから世の中はわからないものだと思うことです。

クマタツ

●いつも ありがとうございます。

戦国の世とは厳しいものであったことが語られています。

秀吉出兵に対して、中国から援兵朝鮮戦争のときと同じです。

今日の日韓関係と重ねて考えると興味深いものがあります。

韓国の最近の言動は、なにやら日本と戦争をしたがっているように感じられます。

外国に向かっての説明は言い訳と見なされることがあります。

● 大石くんのいう通りだと私も思います。

島津忠恒が伊集院幸侃(忠棟)を惨殺したのは、直情的なものではなく、義久や義弘も絡んでいるのではという見方をする学者もあり、一方では、幸侃が豊臣側に取り入って庄内8万石の領主となったことを誇り、その先に懇意な石田三成と結んで島津家に代わり薩摩・大隅・日向の3ヶ国の守護の地位を得ようと企み、忠恒を毒殺しようとしたからとの見方をする学者もいるようです。

こシリーズが進んで「関ヶ原」の部分でどういう立ち位置の形で記事になるか楽しみになりました。

島津久保を先ほど私は義弘の長男としていますが、長男は早世していて、久保は次男です。

訂正します。

後に久保は、義久の娘・亀寿を娶り、養子になり家督を継ぐ体制ができあがっていた。

そういう中での、朝鮮での病死だったということです。

○

大石さん

元時代小説ファンとして述べます。

伊集院幸侃が非業の最後を遂げるることになったのは秀吉に対して非凡な能力をひけらかしたことに起因します。

秀吉は、調略によって城を落とし手柄を立てました。有能な子飼いは少なく、他家の家来でも有能な者を我が者にしようとした。

幸侃は、そのような秀吉の眼鏡にかなない秀吉から厚遇を受けた。これは主家を蔑ろにしたものである。島津家としては不愉快、将来、秀吉の意向を汲んで、主家島津家を裏切る可能性ありと用心と警戒するするのは当然でしょう。

秀吉の死去により、朝鮮から引き上げるときの働きを賞して、家康は秀吉の遺言を無視して島津家に5万石の加増を行った。このことは、ときの権力者が誰かを如実に示している。

●西山様 大石様 隈元様

いつも 配信感謝です。

薩摩藩は中央から見たら 僻地だったのでしょうか。

しかし 海外から新しい技術 知識が入るようになると 俄然先進地となった。^^

今 北東アジアが なんとなく騒がしくなってきました。理の通らぬお隣さんにも困ったもんです。

我が国の指導者の皆さん、変に妥協してもらいたくないですね。

有難うございました。 長崎 諫早 森永

●メールありがとうございます。

本当に困ったものだと思います日本の中央官庁のエリートたちは優秀な方たちですが理不尽な相手をやり込める発言ができない。

ただ、慎重に、相手を刺激しないようにと言っている間に、サンマまで取られてしまった。日本の猫もガッカリしている。

指導者に欠けているのは常識満たそうとしているのは身内の繁栄。

千葉の悲劇は、無能な知事を選んだこと次は、どこでしょう.....

●大石です。

四国旅行も成功?たのしく、笑いの中に終わりました。

まず1にも2にも『大監事・木場祥雄くん』に大御礼を申し上げます。会計まで引き受けてくれたのkしからの細かい精算書が届きました。あまりに完璧なので載せました。以下.....

大石さん

本日 午後いこまツアーリスト池田さんと 旅費の精算 および 三人の方々の 返金を確認しました。私の作成した 精算書に基好き 明日 皆さんに 振り込み料を差し引いた金額を 振り込まれる予定です。

その他 経費に ついて 皆さんから 集めた 3000円 X15人=45,000円

諸経費合計 57,754円 不足 12,754円 は

丸野さん 5,000円 松山城 不見学 払い戻し 4,080円 石手寺不参拝 3,000円

計 12,080円 で 不足 664円は 焼酎 さつま島美人 1本 そのまま 残って

いましたので 私が 引き取り チャラと します。

以上 今回 旅行旅費精算 は 終了とします。

木場 祥雄参考までに経費明細は

運転手さん 10,000円

ビール、お茶、つまみなど	14,105円	
花樹海 飲み物	11,376円	
椿館 カラオケ、飲み物	19,273円	
計	57,754円	
皆さんから 集めて	45,000円	
差し引き	12,754円	が 上記 丸野さん、払い戻し など 12,080円

で 埋め合わせできたこととなります。

おかげで 大きな 差額発生せず 助かりました。

...●参加者 15 名が御礼を言っています。



●2度目のユーチューブの動画『四国旅行 1.2部』のテロップ（挿入文字）に間違い名前を書いてしまいました。

故徳永くんと書くところを隈元（元気ピンピン）くんと書いてしまいました。

早めに修正しますがまずお詫びを先に申し上げます。

2019年9月24日(火) 15:32 大石慶二 <kjoishi3@gmail.com>:

新しい YouTube に UP した動画を送ります。

<https://youtu.be/pUz8BNS33qc>

全然気にしていませんからご心配なく。

というか、初めてあのテロップを見たとき、思わず笑ってしまいました。

そのあと、2回目に見たときには「これは見ることはできません」という形で×印があったので、

大石くんが気づいたのかと思って、思わず吹き出してしまい、しばらく笑いが止まらず、家内も出かけていたので一人で腹を抱えて笑ってしまいました。
まあ、そういうことです。気にせずに！

●これで、クマタツさんは長生きしますよ。 西山

●大石さん

今日のシマズ渡海録 4 は 当時の世相が よくわかります。
殿さまは 積極的に なんでも 取り入れようとされたことも 解ります。
興味深く 読みました。
ありがとうございました。
古市さんは 四国旅行の帰りに 鹿児島へ 帰郷されまた様ですね。
木場 祥雄

●大石です。

昨日は四男島津家久の子『豊久』のルーツを訪ねて、古市庄八郎くんを隈元くんが案内する1日旅をして来ました。南薩方面です。

今日のコピーは良質です。

以下、クマタツです。

●昨日26日のことを大石くんが書いてくれています、私が特別に古市さんを案内するなていう大げさな旅ではありません。

私が、マイペースで組み立てたもので、古市さんにも、大石くんにも迷惑な部分もあったかと思います。ゴメン！

車も大石くん提供で、私が6ヶ月ぶりに興味津々で自らかって運転をしましたので、同乗の両君は心配だったことでしょう。

ただ無事で一日の行程を終えて3人で大いに楽しむことは出来たかなと思っています。

古市さんが島津豊久（島津4兄弟、義久、義弘、歳久、家久のうち家久の息子で、関ヶ原の戦いで義弘を守って戦死）に興味を持っておられることをメールで知った私が豊久の眠る永吉島津家の墓地である「天昌寺跡」を古市さんが帰鹿の折に一緒に行きませんか、と言ったことから始まったことです。というのが私のプロ友で現在、永吉島津家の天昌寺一帯を守るボランティア団体・「永吉南郷会」の前会長で現在「語り部」の本田哲郎さんと昵懇なことから、ガイドをお願いして日置市吹上町永吉一帯の史跡案内をしていただけることになったのでした。

鹿児島を8時30分発で行き予定の10時より早く待ち合わせ場所の天昌寺跡に着きましたが、もうすでに本田さんは着いておられて、そこからガイドが始まりました。私は天昌寺跡には過去2回訪れてブログにも詳しく書いていますが、今回もできるだけ新しいことを入れて近々ブログに書きたいと思っています。今日は天昌寺跡の数枚の写真を添付します。

天昌寺跡の後も六地藏塔、梅天寺跡、大辻石塔群、南郷城跡の空堀を案内してもらいました。本田さんと4人で昼食を済ませ、午後も受け持っておられる歴史講座で吉利の史跡ガイドをされるという本田さんと別れて私たち3人は加世田の竹田神社、知覧の特攻記念館を巡り、鹿児島に帰りました。

朝鮮出兵④については、別な機会にコメントしようと思います。

クマモト タツオ

